

ふれあい記録

実施日：平成27年11月19日

当番者名 岩崎 宗郷 新海 昭

コース名：独自コース31番 「大菩薩峠」 (通し番号 第113回)

天 候：曇り

参加者名：相川 勲、市瀬 英雄、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、笠井 欽三、
神谷 順子、功力 満紀子、柴崎 幸治、新海 昭、西村 寿文、根本 邦子、
細矢 清志、堀井 克子、宮原 さち子、宮原 宏至、山奥 利光(17名)

ビジター：大胡 善六、山越 策次郎(2名)

計19名(内、男14名 女5名)(五十音順)

交 通：東神奈川⇒八王子間はバラバラに移動したため省略します。

<往き>八王子7時52分発⇒高尾7時59分着、甲府行に乗換 8時02分発⇒塩山9時25分着、ジャンボタクシー2台に分乗 9時35分発 → 福ちゃん荘 10時05分着

<帰り>福ちゃん荘からジャンボタクシー 2台で塩山駅へ14時45分発 → 塩山駅 15時25分着塩山駅15時34分発大月ゆきに乗車⇒ 大月駅16時09分着、東京行に乗換16時13分発⇒八王子駅17時05分着、解散

コ ー ス：福ちゃん荘10時25分発(神谷さんの指導で準備体操)～ 雷岩11時30分着～ 大菩薩嶺(雷岩間往復20分)～雷岩 11時50分帰着(昼食30分)12時25分発～大菩薩峠 13時15分着(コーヒータイム30分)大菩薩峠 13時45分発～福ちゃん荘 14時20分着

見 所：なんとといっても小説「大菩薩峠」で有名な人気の日本百名山のひとつである。登山に至るコースは色々あるが、今回は体力温存型の楽ちんコースとした。雷岩から大菩薩峠までは富士山や南アルプスを遠望しながら歩く大パノラマの尾根歩きコースであるが、今回は厚い雲に邪魔されて堪能する事が出来なかった。いつもは多数の登山客でごった返すこのコースも天候のせいで人出が少なく、いつもは撮影ポイントで順番待ちをする混雑を予想していたが、今回は独占状態でゆっくり撮影もでき楽しむ事ができて何よりであった。大菩薩へ移動中のタクシーの中からは標高の低い山々の紅葉を楽しむ事が出来た。

自然観察：

初冬の遅い時期とあって、紅葉も終わっており、草花もほとんど楽しめなかった。眼下に広がるはずの山々や人造湖も厚い雲間から見えただけであった。雲の上の青空と雲海とのコントラストが素晴らしく、楽しい初冬の1日だった。

特記事項：

- ① 天候不順が続き、実施の可否について直前まで悩まされた。しかし、登るにつれ青空も見える1日となりました。ただ、富士山は厚い雲にかくれてみる事が出来ませんでした。遠くの甲斐駒ヶ岳が遠望できる時間に恵まれました。
- ② 体力の消耗を最低にし、かつ時間を節約して、バスも入らぬ最奥の福ちゃん荘までタクシーで入った事で、体力的に楽で、余裕を持って行動できた1日となった。物足りなさを感じた方も多かったかもしれない。
- ③ 2台のジャンボタクシーに、目いっぱい乗車したことにより、なんとタクシー代は一人当たり1500円(片道750円)という安さ。！！すごく得した気分になりました。
- ④ 人懐っこく気持ちのいい若者4人連れと、一緒に記念写真を撮ったり、コーヒーを飲んだりと良き交流ができました。皆さんは孫を重ねて見られていたのではないのでしょうか。
- ⑤ 集合地点については、最終的に参加者全員集合出来る所に設定すべきで、結果的に東神奈川駅集合は意味を持たなかった。これは当番の反省事項でもある。今回は最終駅の塩山を集合地点とするなどの工夫が必要と感じた。